

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第2部門第3区分  
【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-167901(P2006-167901A)  
【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)  
【年通号数】公開・登録公報2006-025  
【出願番号】特願2004-367818(P2004-367818)  
【国際特許分類】

**B 2 5 C 1/08 (2006.01)**

【F I】

B 2 5 C 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジング内に設けられたシリンダと、  
前記シリンダに沿って往復移動可能なピストンと共に燃焼室を形成する燃焼室枠と、  
前記ハウジング内の前記シリンダ及び前記燃焼室枠が収納された第1の空間とガスボンベが収納された第2の空間とを画成し、該第1の空間と該第2の空間とを連通させる連通孔が形成された隔壁とを有する燃焼式釘打機において、  
前記燃焼室での混合気の燃焼によって発生する排気ガスの前記隔壁の連通孔方向への流れを規制する複数のリブを設け、該複数のリブ間に前記排気ガスの流路を形成したことを特徴とする燃焼式釘打機。

【請求項2】

前記隔壁の連通孔に面した前記シリンダの外側面であって、前記シリンダの連通孔投影部位に対してシリンダ長手方向且つ連通孔投影部位よりも上方側に、シリンダ長手方向に対して交差する斜めのリブを設けたことを特徴とする請求項1記載の燃焼式釘打機。

【請求項3】

前記リブを前記燃焼室枠の両側部に形成された側方遮蔽リブで構成したことを特徴とする請求項1又は2記載の燃焼式釘打機。

【請求項4】

前記リブを前記燃焼室枠下端部に突出した下方遮蔽リブで構成したことを特徴とする請求項1～3の何れかに記載の燃焼式釘打機。